

山本有三 没後50年

濁流

雑談 近衛文麿

— 燃ゆる創作への想い —



『濁流 雑談 近衛文麿』(毎日新聞社昭和49年5月)



山本有三と近衛文麿(昭和14年8月) 経井沢の近衛文麿別荘にて ※背景使用画像:「創作ノート」(年代不詳)

令和6年 9月14日[土] 〓 令和7年 5月11日[日] 三鷹市山本有三記念館

開館時間 午前9時30分～午後5時

休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館)

※9/17・18、24・25、10/15・16、11/5・6、12/29-1/4、1/14・15、2/25・26、5/7・8は休館

入館料 300円(20名以上の団体200円)

年間パスポート1,000円(購入日より1年間有効)

・中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料

・「東京・ミュージアムぐるっとパス」利用者は無料

・年間パスポートは受付にてお問い合わせいただけます。



主催 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団／三鷹市

協力 栃木市立文学館／山本有三ふるさと記念館／杉並区立郷土博物館／株式会社クリーク・アンド・リバー社

文豪転生シミュレーションゲーム「文豪とアルケミスト」(DMM GAMES)とのタイアップ企画として、山本有三とゆかりの深い三鷹市山本有三記念館、栃木市立文学館、山本有三ふるさと記念館の3館連携スタンプラリーを開催します。三鷹市山本有三記念館と栃木市立文学館でスタンプを押した方に、デザインの異なるポストカードをプレゼント。3館すべてのスタンプを集めた方には、描き起こしイラスト入りの特典カードをプレゼントいたします。(山本有三ふるさと記念館でのポストカードプレゼントはありません。)※ポストカード、特典カードはなくなり次第終了となります。会期中、三鷹市山本有三記念館及び栃木市立文学館では、館内に等身大パネルを設置。オリジナルグッズも販売いたします。 ※詳細は各館にお問い合わせください。



没後50年 関連企画

三鷹ネットワーク大学共催 企画展関連講演会

令和6年10月6日(日) 午後2時から3時30分

会場:三鷹ネットワーク大学

(東京都三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階)

[講師] 近衛 忠大(近衛文麿曾孫)
[演目] 「山本有三が描こうとした近衛文麿像」
[定員] 50名

[参加費] 無料

[応募方法] ①往復はがきに①参加者氏名(2名様まで)、②代表者の住所・電話番号、③何を見て応募したか、④返信用はがきに宛先をご記入の上、山本有三記念館「関連講演会係」までお送りください。

②申込フォーム<<https://forms.gle/nHNGA62ajPc5Lor76>>からお申し込みください。

[締切] 9月6日(金)当日消印有効



近衛 忠大



特別演奏会「琵琶〜有三との出会い〜」

令和6年10月18日(金)・19日(土) 午後6時から7時

会場:三鷹市山本有三記念館

[出演] 川嶋 信子(薩摩琵琶)
[演目] 「坂崎出羽守」、「心に太陽を持て」ほか
[定員] 各回35名

[参加費] 入館券(300円)が必要です。

[応募方法] ①往復はがきに①希望する公演日、②参加者氏名(2名様まで)、③代表者の住所・電話番号、④何を見て応募したか、⑤返信用はがきに宛先をご記入の上、当記念館「特別演奏会係」までお送りください。

②申込フォーム<<https://forms.gle/cKVsh4j3DdJxoBMb8>>からお申し込みください。

[締切] 9月13日(金)当日消印有効



川嶋 信子



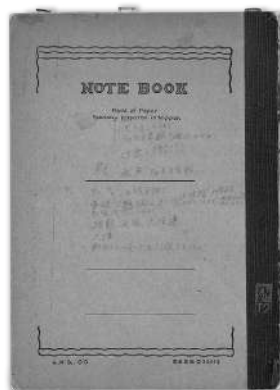
*どちらもお1人様1応募限り。応募多数の場合は抽選となります。

復刊本『無事の人 濁流 雑談 近衛文麿』発刊

企画展の開催に合わせ、三鷹市山本有三記念館文庫の第5弾、『無事の人 濁流 雑談 近衛文麿』を刊行します。戦後、山本有三が参議院議員の任期中に発表した小説『無事の人』のほか、絶筆となった『濁流 雑談 近衛文麿』を収録しています。お読みいただくことで、企画展への理解がより深まります。ぜひお楽しみください。

価格 900円(税込み)

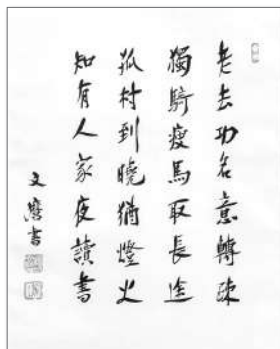
販売場所 山本有三記念館受付・公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団通販ストア



創作ノート(年代不詳)



近衛文麿肖像写真
(画像提供: 杉並区立郷土博物館)



近衛文麿書「夜行」(軸装)



「濁流 雑談 近衛文麿」第一回 校正紙
(昭和48年)

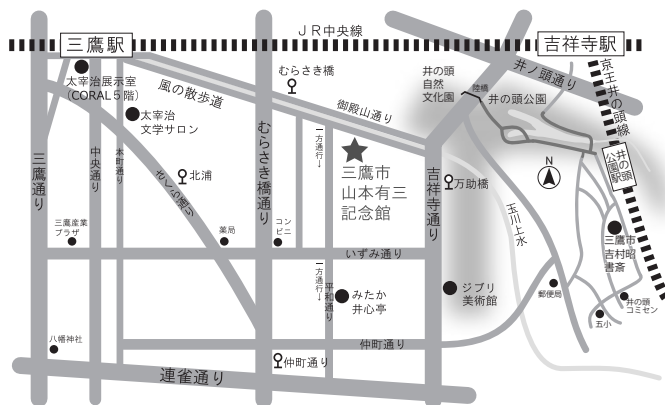
昭和48(1973)年、山本有三は85歳にして「濁流 雑談 近衛文麿」の連載を開始しました。小説「無事の人」(昭和24年)を雑誌「新潮」に発表して以来、実に20年以上ぶりとなる新作の発表でした。

かねてより親交の深かった近衛文麿を題材に採り、昭和19年7月という緊迫した戦時下の情勢を描いた本作には、おびただしい数の資料と人物名が交錯しています。戦争終結をめぐる複雑にからみあう昭和史の一幕を、有三は、その熟練した語り口によって「雑談」として描き出そうと試みており、完成していれば作家畢生の大作となつたであろうことを予感させます。

令和6(2024)年は、山本有三の没後50年という節目の年にあたります。本展では、有三と文麿の親交を示す書簡や、文麿自筆の書、作品の構想メモとみられる書込みの入った創作ノート等の資料を手引きとして、「濁流 雑談 近衛文麿」の作品内容を紹介。作家・山本有三が長年の沈黙の末に発表した大作の構想の一端を紐解きます。

ガイドボランティアのご案内

土・日・祝日の午後1時~4時に、展示及び建物に関する解説を行っています。事前申し込みは不要ですので、お気軽に声をおかけください。



会場・問合せ

三鷹市山本有三記念館

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 2-12-27

Tel.0422-42-6233 HP:<https://mitaka-sportsandculture.or.jp/yuzo/> X @BungeiMitaka

電車 JR中央線「三鷹駅」南口より徒歩12分
JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」南口(公園口)より徒歩20分

バス 三鷹駅南口よりみたかシティバス「むらさき橋」下車徒歩2分
吉祥寺駅南口より小田急バス「万助橋」下車徒歩5分



公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団
Mitaka City Sports and Culture Foundation

